

十和田市 社協だより

目 次

- ・表紙（ふれあい・いきいきサロン事業）… 1
- ・福祉の作品コンクール「ほんわかハート展」… 2
- ・第21回十和田市社会福祉大会 …… 3
- ・社協ダイアリー（行事紹介）… 4
- ・しゃきょう情報ひろば …… 5
- ・赤い羽根共同募金 …… 6

令和8年3月発行 第139号



(写真) ボッチャに挑戦する参加者。自分のボールがジャックボール（目標球）の一番近くなるよう、慎重に投げていました。

高齢者の集いの場活動を応援

ふれあい・いきいきサロン事業

地域住民が主体となって、高齢者が集会所等に集まり交流するサロン。十和田市社会福祉協議会では、今年度市内37の地域に「ふれあい・いきいきサロン事業」として活動費の助成を行っています。

助成団体のひとつ、「このゆびと〜まれ」（沢目照代表）は、月1回東ふれあい会館で活動しています。世話人の皆さんが、参加者の意見を取り入れながら企画・運営を行っているのが特徴です。

1月30日（金）は、楽しく体を動かすことを目的として、ボッチャと的当てゲームを行いました。36人が参加し、健康体操の後、班に分かれて交替で遊びました。勝負の時は真剣な表情の参加者も多く見られましたが、休憩時には「普段ゲームをすることがないから参加して楽しかった。」と皆さん笑顔で話していました。

新規取り組み地域募集については5ページをご覧ください。



チームワーク抜群な世話人の皆さん



市内の児童生徒を対象にした福祉の作品コンクール「ほんわかハート展」を行いました。この作品展は、子どもたちに福祉への関心を深めてもらうことを目的として、平成5年度から毎年行っています。

「思いやり」「ふれあい」「たすけあい」をテーマに作品を募集し、今年度は市内20校から作文・ポエム・写真・絵画・書道の作品814点の応募がありました。

入賞者の中から最優秀賞、優秀賞に選ばれた方々をご紹介します。(敬称略)

作文部門

小学校低学年の部

最優秀賞 北村 一翔 (5とせ2)
優秀賞 高松 里帆 (南2)

小学校高学年の部

最優秀賞 田嶋 心菜 (5とせ6)

中学校の部

最優秀賞 洞内 優李 (甲東3)
優秀賞 木村 真理 (十和3)
塩沢 翼 (附属2)

高等学校の部

最優秀賞 高淵 鈴華 (十和1)
優秀賞 小川 梨々香 (十和3)
佐々木 恋南 (十和3)
小向 綾恵 (十和2)

絵画部門

小学校低学年の部

最優秀賞 赤坂 優衣 (北園2)
優秀賞 豊川 晃都 (南2)
川村 実椰 (三本2)
逢坂 光希 (三本2)

小学校高学年の部

最優秀賞 大山 心遥 (藤坂6)
優秀賞 長尾 悠稟 (南4)
小笠原 優 (南6)
小山田 夏那 (藤坂6)

中学校の部

最優秀賞 坂上 愛莉 (附属3)
優秀賞 山本 沙楽 (附属1)
フランク さや (附属1)
沼尾 里咲 (附属2)

高等学校の部

最優秀賞 樋口 夏宝 (三縣3)
優秀賞 高淵 鈴華 (十和1)

ポエム部門

小学校低学年の部

最優秀賞 土井 結陽 (西1)
優秀賞 佐々木 煌来 (5とせ1)
長谷川 紗也 (三本3)

小学校高学年の部

最優秀賞 姥名 莉子 (北園4)
優秀賞 上道 暖叶 (南6)
向中野 叶聖 (西6)
長澤 天音 (東6)

中学校の部

最優秀賞 小山田 虹胡 (十和2)
優秀賞 對馬 佳音 (三本3)

高等学校の部

最優秀賞 津川 碧葉 (十和1)

書道部門

小学校低学年の部

最優秀賞 豊川 詩乃 (沢田3)
優秀賞 竹ヶ原 杏 (藤坂3)
北村 一翔 (5とせ2)
一戸 亮太 (北園4)

小学校高学年の部

最優秀賞 木村 有希 (藤坂6)
優秀賞 佐藤 末羽 (南5)
田中 月香 (西6)
鳥山 姫紗 (東4)

中学校の部

最優秀賞 對馬 佳音 (三本3)
優秀賞 工藤 陽葵 (四和3)
松田 蒼士 (十和3)
西澤 明里 (十和1)

高等学校の部

最優秀賞 菅野 奏音 (三縣2)
優秀賞 小長根 悠生 (十和1)
高橋 和華 (三本2)
坂本 悠俐穂 (三本2)

写真部門

小学校低学年の部

最優秀賞 北村 一翔 (5とせ2)
優秀賞 東 遼磨 (南3)
佐々木 奨真 (三本3)
西村 律 (東1)

小学校高学年の部

最優秀賞 對馬 佳吾 (北園6)
優秀賞 立崎 ちなみ (南4)
小山田 夏那 (藤坂6)
橋本 啓 (三本5)

中学校の部

最優秀賞 對馬 佳音 (三本3)



12月1日(月)から15日(月)までの期間、イオンスーパーセンター十和田店で作品展示を行いました

入賞作品はホームページで公開しています

十和田市社会福祉協議会のホームページで全部門の入賞作品を掲載しています。ぜひご覧ください。



▼QRコードはコチラ



この事業は、赤い羽根共同募金の配分金を活用しています

第21回十和田市社会福祉大会を開催しました

10月17日(金)、十和田市民文化センターで「第21回十和田市社会福祉大会」を開催しました。この大会は、長年本市の社会福祉に功績のある方々を表彰するとともに、「住民が支え合い、誰もがその人らしく健やかで安心して暮らせる とわだ」の実現に向け、地域福祉の充実を目指す機会とすることを目的として、毎年開催しています。

今大会では、社会福祉協議会関係表彰の個人50名、2団体、1法人、共同募金委員会関係表彰の個人13名、8団体、5町内会、そして福祉の作品コンクール「ほんわかハート展」の最優秀賞受賞者の表彰を行いました。大会式典後の記念講演は、天台宗道心寺の住職 露の団姫(現在は露の五九洛)氏をお招きし、落語のご披露と「一隅を照らす～自分の持ち場で一生懸命～」と題して講演いただきました。



友愛保育園の園児によるカラーガードが開会を盛り上げました



受賞者の長年の功績を称え、表彰状や感謝状を贈呈しました



ほんわかハート展の最優秀賞受賞者の方々



記念講演のひとコマ。大勢の来場者が落語と講演を楽しみました

十和田市社会福祉協議会関係表彰

(掲載順不同・敬称略)

■表彰の部

民生委員・児童委員

庭田 啓子	大沢 幸雄	小笠原 勉
中野渡 三男	西野 トキ	野坂 恵子
中西 章子	成田 正男	秋元 幸子
成田 礼子	太田 穰	原 新一

施設・団体役職員

中野渡 喜兵衛	阿部 久美子	田中 寛也
中野渡 啓子	下田 洋美	大山 香菜子
附田 梓	米田 舞	大久保 守
川村 秀子	加賀 優	川村 和江
下山 江里子	芦沢 奈緒子	櫻田 秀樹
竹内 知子	小向 実里	泉山 めぐみ
川村 早苗	滝内 秋則	米沼 舞花
松田 貴裕	古川 あき	

社会福祉活動協助者

舩 甚英文	大竹 茂	板垣 末治
猪野 和子	漆坂 昭博	佐々木 義則
馬淵 妙美	佐藤 明美	中野渡 彰子
野月 一春	野村 法彦	桜田 和彦
端 康広	立崎 國幸	

十和田市社会福祉協議会会長による推薦

精神保健福祉ボランティア「駒の会」
傾聴サロンとわだ

■感謝の部

沼宮内 佑子 青森県労働者福祉協議会

十和田市共同募金委員会関係表彰

(掲載順不同・敬称略)

■個人の部

白山 廣美	吉田 順子	中村 信義
北田 章	太田 明良	中野渡 三男
小笠原 勉	中西 章子	成田 薫
成田 礼子	張 摩博子	妻神 和子
	匿 名	

■団体の部

十和田市老人クラブ連合会
一般財団法人 済誠会
社会福祉法人 至誠会 特別養護老人ホーム 一葉園 職員一同
社会福祉法人 至誠会 救護施設 まことホーム 職員一同
社会福祉法人 至誠会 救護施設 誠幸園 職員一同
社会福祉法人 至誠会 児童養護施設 あけぼの学園 職員一同
社会福祉法人 至誠会 障がい者支援施設 一誠園 職員一同
社会福祉法人 十和田市社会福祉協議会 職員一同

■町内会の部

三丁目町内会 並木第二町内会 美園町町内会
森田野町内会 儀兵衛町内会



十和田市共同募金委員会表彰の様子

次回開催の予告



次回の社会福祉大会は、令和8年10月16日(金)に十和田市民文化センターで開催します。「十和田市社会福祉協議会法人化60周年」と「赤い羽根共同募金運動80回」、本会で障がい者福祉の向上を図ることを目的に開催している「ゆめ色フェスティバル40回」の3つの節目を記念し盛大に行う予定です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

▶ボランティア協力者数 一般：7人

この事業は、赤い羽根共同募金の配分金を活用しています

社協ダイアリー

9~12月に開催した行事を紹介します

みんなのクローゼット & 親子ふれあい縁日

9月23日(火)、地域交流センターとわふるで「みんなのクローゼット&親子ふれあい縁日」を開催しました。みんなのクローゼットでは、市内12の社会福祉法人から集まった子ども用の衣類と学用品470点を提供しました。親子ふれあい縁日は、中庭に輪投げや射的など、縁日ブースを用意し、チャレンジしてもらいました。188人が来場し、会場には子どもたちの楽しそうな声が響いていました。

▶ ボランティア協力者数 中高生：4人 一般：4人



輪投げコーナーで遊ぶ来場者

チャレンジ！手話講座

9月27日(土)から全8回、市民交流プラザトワールで「チャレンジ！手話講座」を開催しました。手話に関心のある市民8人が受講し、自分の名前や家族の紹介、好きなことや仕事を伝えるときなどの手話を学びました。受講者からは「(聴覚障がい者の)生活の様子など初めて知ることがたくさんあった。」「楽しく会話できるように勉強していきたい。」という声が寄せられました。

この事業は、赤い羽根共同募金運動の配分金を活用しています



手話講座の様子

地域のつどい場 “知ってちょーだい” 交流会

11月13日(木)、21日(金)、12月3日(水)、「地域のつどい場 “知ってちょーだい” 交流会」(市生活支援体制整備事業の一環)を開催しました。この交流会は、日常生活圏域(西南・東・北)ごとに開催し、地域包括支援センター、在宅介護支援センター等の協力のもと、ポッチャや室内で楽しめるレクリエーションの体験を行いました。合計104人が参加し、体を動かしながら同じ圏域の方と交流を深めていました。



巨大ジェンガの体験

ゆめ色フェスティバル

11月15日(土)、JA十和田おいらせ本店で「ゆめ色フェスティバル2025」を開催しました。市民が障がいの有無に関わらず交流を深めることを目的として開催し、288人が参加しました。市内の福祉施設・団体によるダンスや歌の披露、農産物やお菓子、雑貨などの販売を行いました。交流会では、十和田市出身のシンガーソングライター愛野由梨奈氏をゲストに迎え、誰もが知っているアニメソングなどで一緒に盛り上がりました。

▶ ボランティア協力者数 中高生：8人 一般：6人

この事業は、赤い羽根共同募金運動の配分金を活用しています



救護施設 誠幸園の演目「ひげダンス」



しゃきょう

Information

情報ひろば

催しや募集に関するお問い合わせはお気軽に社協までご連絡ください。

23-2992

募集

「ふれあい・いきいきサロン事業」
新規取り組み地域に助成します

高齢者の仲間づくりや健康増進、閉じこもり防止を目的に、地域の身近な場所に集まり活動するサロンの新規実施地域(町内会・福祉施設など)を募集しています。

■助成期間・助成額
新規から2年間：年間30,000円以内
3年目以降：年間20,000円以内

■募集枠 3地域程度

■申込 申込期限 3月31日(火)
詳細は電話でお問い合わせください。

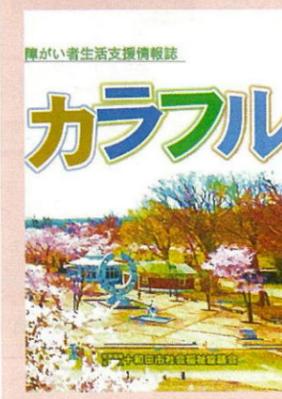
「日常生活自立支援事業」の
生活支援員を募集しています

認知機能の低下や障がいなどにより、判断能力が不十分な方の金銭管理や生活に必要な手続きなどをお手伝いする「日常生活自立支援事業」の生活支援員を募集しています。福祉に関する資格がなくても活動できます。

■活動内容 生活費の払い戻しや支払いを行います。
活動回数は平日、月数回程度
時間帯はおおむね8：30～12：00
※利用者の希望によって決まります。
活動にかかる交通費等を支給します。

■申込 詳細は電話でお問い合わせください。

障がい者生活支援情報誌発行のお知らせ



障がい福祉サービスや申請方法、各種事業所、生活に役立つ情報などを1冊にまとめた障がい者生活支援情報誌「カラフル」を発行しています。冊子の内容は、十和田市社会福祉協議会のホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

皆さまからの善意

令和7年9月1日から12月31日までの間にいただいた分を掲載します。

※社会福祉協議会への寄付は税制上の優遇措置が認められています。

福祉基金

- ・沼宮内 佑子 様 100,000円
- ・北見歌謡会 様 80,694円
- ・十和田市グラウンド・ゴルフ協会 様 9,961円
- ・心舞踊コース会 橋流家元二代目 橋 若之進 様 5,000円

物品寄贈

- ・波 紫 吉 文 様 電動ベッド 1台

日常生活用具貸出事業で活用します

- ・とわだ家族会 様 プルタブ 3.6kg
- ・学校法人さつき学園 認定こども園さつき幼稚園 様 プルタブ 22kg
- ・学校法人東北カトリック学園 十和田カトリック幼稚園 様 プルタブ 11.3kg
- ・ダイナム十和田店 様 プルタブ 14kg

地域福祉推進のための各種事業で活用します

- ・北 田 章 様 防寒衣類 5点
- ・下川原 正 美 様 米 20kg
- ・匿名 米 6.7kg

生活困窮者世帯の支援に活用します

- ・末日聖徒イエス・キリスト教会三沢支部 様 食料品等

フードバンク・サポート事業で活用します



北見歌謡会 様 チャリティーコンサート収益金を寄付
ダイナム十和田店 様 店舗で集めたプルタブを寄贈

十和田市 社会福祉協議会
みなさんの会費が 福祉をつくり みんなの募金が 福祉を支える

皆様のあたたかいご協力に感謝申し上げます。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

十和田市 共同募金委員会

社協HPIはコチラ



十和田市社協だより 令和8年3月発行 第139号
編集・発行 社会福祉法人 十和田市社会福祉協議会
住所 〒034-0011 十和田市相生町18-33
電話 0176-23-2992 市民交流プラザ内
E-mail welfare@towada-shakyo.or.jp
ホームページ http://towada-shakyo.or.jp

この広報は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しています



十和田市社協
Instagram



十和田市社協
Facebook

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、地域の皆さまの思いやりと支えによって成り立っています。街頭募金やさまざまな場面で寄せられる温かなご協力が、地域で暮らす方々の安心と福祉につながっています。

一人ひとりの「支えたい」が、地域の「力」に

赤い羽根共同募金は、地域で暮らす多くの方々の「誰かの力になりたい」「地域を支えたい」という温かな気持ちをカタチにする活動です。今年度も街頭募金では、ボランティア一人ひとりが心を込めて声をかけ、市民の皆さまがその趣旨に賛同しご協力くださいました。

この小さな協力の積み重ねが、地域福祉を推進する大きな力となっています。



じぶんの町を良くするしくみ。



あなたに合った方法で募金できます

募金方法のご紹介

インターネットでの募金

パソコンやスマートフォンから簡単に募金できます。

青森県共同募金会ホームページの「募金方法」から「インターネットなどを通じて今すぐ募金する」を選び、画面の案内に沿って寄付金額や必要事項を入力すると、お申し込みが完了します。

下記QRコードから募金できます。

右のQRコードを読み取ると、募金専用ページに直接アクセスできます



URL <https://hanett.akaihana.or.jp/donate/entry/100/02/02206/>



共同募金ではさまざまな方法で募金活動を展開しています。今回は、パソコンやスマートフォンから手軽にできるインターネットでの募金と、地域のお店や公共施設などに設置している募金箱での募金をご紹介します。

募金箱での募金

お店や公共施設などに設置している赤い羽根共同募金の募金箱に、直接お金を入れて募金できます。

また、市民交流プラザ内には、少し変わった「コロコロ募金箱」を設置しています。この募金箱は、とわだおもちゃ病院から寄付していただいたもので、硬貨を入れるとお金がコロコロと転がりながら中に入っていく仕組みになっています。

子どもから大人まで、楽しみながら募金に参加できる募金箱です。市民交流プラザをご利用の際は、ぜひ一度ご覧ください。



コロコロ募金箱設置中
(～3月31日まで/土日祝を除く)
設置時間 9:00～17:00

十和田市
共同募金委員会

皆さまのあたたかいご協力に
感謝申し上げます
今後ともご支援ご協力を
よろしくお願い申し上げます

みんなの募金で
福祉をつくり支える



十和田市共同募金委員会

住所 〒034-0011 十和田市稲生町18-33 市民交流プラザ内
電話 0176-23-2992
E-mail towadashikyoubu@towada-shakyo.or.jp

